

数字で知るJ-オイルミルズ

会社の特長 (2024年度)



国内外の従業員数
1,248名

Ref. P77



生産拠点
7 拠点

国内6拠点、海外1拠点

Ref. P35

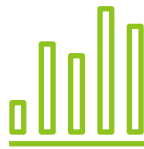


創業
199年

(1826年創業)

Ref. P18-19

主な財務実績 (2024年度) Ref. P74-75



売上高
2,308億円



親会社株主に帰属する当期純利益
70億円



1株当たり配当金(配当性向)
70円 (33.1%)

Ref. P28

主な非財務実績 (2024年度、パーム農園までのトレース率のみ2024年1月-12月の実績) Ref. P42-43、P77



CO₂排出量(Scope1、2)
34%削減

2030年度までの目標

50%削減

(2013年度比)

Ref. P45

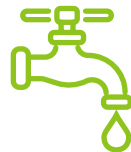


パーム農園までのトレース率
49.9%

2030年までの目標

トレース率 **100**%

Ref. P34



水使用量
17%削減

2030年度までの目標

30%削減

(2019年度比)

Ref. P46

選ばれ続ける製品※1 (当社調べ)

※1 2025年7月1日時点



家庭用のロングセラー製品

20年
(2005年発売)



JOYL「AJINOMOTO」
さらさら®キャノーラ油]

29年
(1996年発売)



JOYL「AJINOMOTO」
オリーブオイル
エクストラバージン]

42年
(1983年発売)



JOYL「FILIPPO BERIO®」
エクストラバージン
オリーブオイル]



業務用のロングセラー製品

63年
(1962年発売)



「大豆白絞油ゴールド®」
16.5kg缶]

67年
(1958年発売)※2



「サラダ油オレンジ」
16.5kg缶]

※2 業務用サラダ油(16.5kg缶)の発売年

98年
(1927年発売)



「豊年油®」
16.5kg缶]

オリーブオイルシェア※3

No.1
(2024年度時点)



JOYL「AJINOMOTO」
オリーブオイル]シリーズ

※3 インテージSCI オリーブオイル市場
2024年4月~2025年3月 購買金額シェア

食用油紙パック製品
ラインアップ数

No.1
(2024年度当社推定)



「スマートグリーンパック®」
シリーズ

米国市場売上
(海苔代替市場)

No.1
(2024年度当社推定)

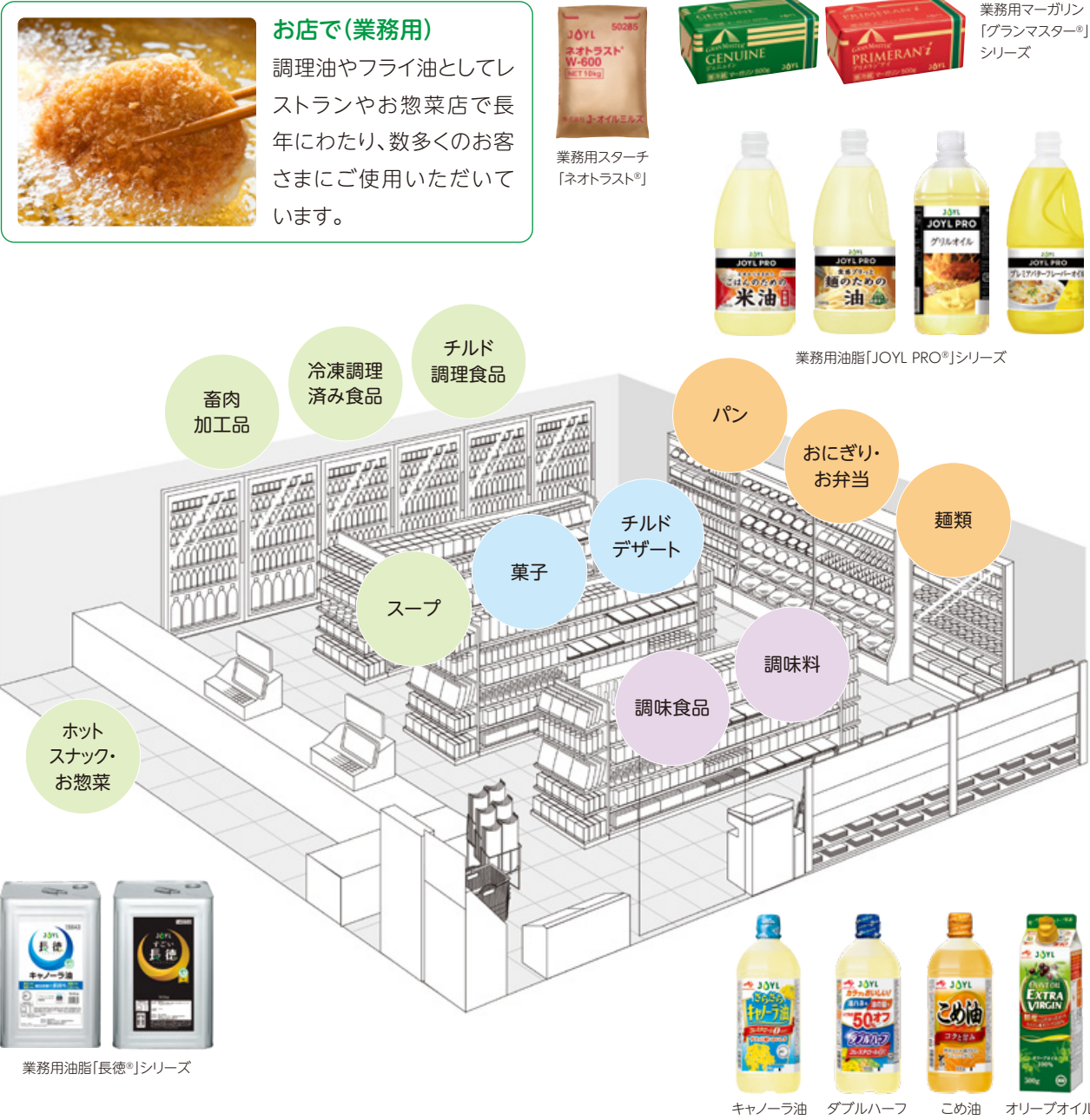


大豆シート食品「まめのりさん®」

J-オイルミルズの事業領域

身近なところで使われているJ-オイルミルズ製品(例)

コンビニエンスストアで目にするさまざまな食品に当社の製品・技術が使われています。



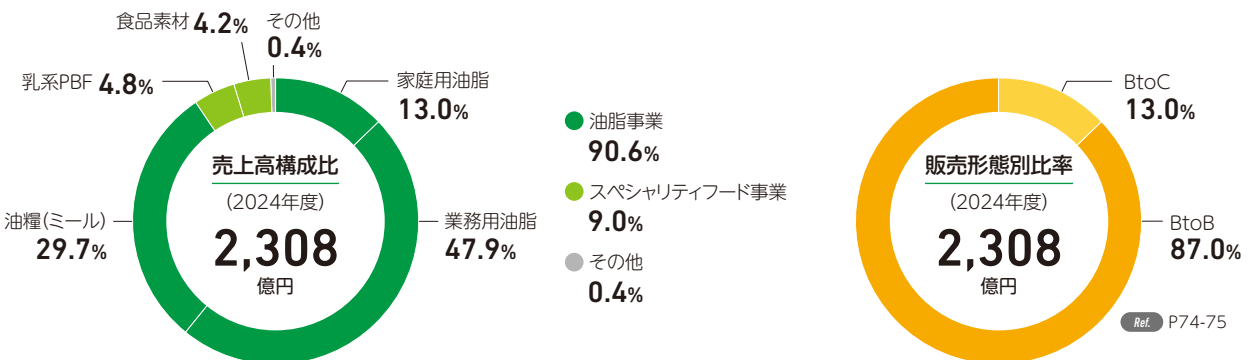
加工食品の工場(業務用)

加工食品メーカーに油脂をお届けし、マヨネーズ、ドレッシング、マーガリン、缶詰、レトルト食品、冷凍食品など、さまざまな形で活用されています。

ご家庭で

AJINOMOTO ブランドなどの油脂類を通じて、お客さまのご家庭においしさや調理の楽しさ、健康をお届けしています。

事業紹介



※構成比については小数点第2位で四捨五入しており、小数点第1位まで表示しています。また合計が100.0%になるよう一部項目を調整しています。

油脂事業

油脂事業は、主に海外から穀物を輸入し、油脂と油糧(ミール)の2つに加工して販売する当社の主力事業です。私たちは「あぶら」のプロとして、「おいしさデザイン®」を実現するため、安全安心を基本に、幅広い用途に使われる汎用品から、「あぶら」ならではの調理・調味・健康の各機能を有した高付加価値品までを幅広く展開し、おいしさだけではなくお客さまや社会の課題解決に貢献することを目指しています。

家庭用油脂

キャノーラ油やこめ油などのフッキングオイルから、オリーブオイルやオメガ3を含むアマニ油・えごま油、MCTオイルなど、おいしさや健康、そして低負荷を提供する商品を製造・販売しています。

業務用油脂

おいしく長期間ご使用いただける「すごい長徳®」や「長徳®」シリーズに加え、プロのための調味油シリーズ「JOYL PRO®」(ジェイオイル プロ)などの豊富なラインアップを取りそろえるなど、独自技術を活かしてお客さまの課題解決に貢献していきます。

油糧(ミール)

搾油処理後の油糧(ミール)は、原料素材として広く活用されています。大豆ミールは良質なたんぱく源として配合飼料やしょうゆの醸造用原料に、菜種ミールは有機肥料や配合飼料の原料などに利用されています。

スペシャルティフード事業

「スペシャルティ」には「当社ならではの付加価値の高い製品を提供したい」という想いを込めています。「あぶら」「でんぶん」「たんぱく」などの植物性原料に独自の加工技術やアプリケーション技術を用いた製品によって、「おいしさ×健康×低負荷」をテーマとした価値提供を国内外で実現し、社会課題解決に貢献することを目指しています。

乳系PBF

マーガリンやショートニングについては、独自の加工技術やおいしさを付与する技術を活用し、多くの製品群を開発・販売しています。「GRANMASTER®」(グランマスター)は製菓・製パンのプロフェッショナルなお客さまに向けて豊富なラインアップで展開しています。

食品素材

コーンやタピオカなどを原料としたスターチ製品、サプリメントや加工食品、香粧品向けの機能性素材、大豆たんぱく食品の開発・販売を行っています。

J-オイルミルズのあゆみ

詳細はWEBサイトをご覧ください。
<https://www.j-oil.com/corporate/history.html>

J-オイルミルズの前身となる各社が誕生

当社の前身として、1826年に味の素製油、1907年にホーネンコーポレーション(豊年製油)、1855年に吉原製油が誕生。文明開化の掛け声の下、変化する情勢の中で、“製油”の存在感が拡大していきました。

1826～



食生活の変化や新たな市場に対応

高度成長期を迎えた日本では、スーパーマーケットの登場とともにプラスチックボトルが普及しました。外食・中食の拡大で油脂製品の需要が大きく伸びたことにより、当社の旧事業会社は重要な存在感を示していきました。

1945～



“プラスα”の高付加価値化を推進

経済成長により、高品質・多機能な製品の需要が拡大していきました。多様化するニーズに対応するため、高級油や健康志向に配慮する油、炒め物やドレッシング専用の機能油など、需要に合わせて開発していきました。

1989～



「株式会社J-オイルミルズ」を発足し、「おいしさデザイン®」企業へ

2002年4月、当社はホーネンコーポレーションと味の素製油の共同持株会社である豊年味の素製油として設立され、翌年の吉原製油との経営統合を機に社名を「株式会社J-オイルミルズ」に一新しました。2004年7月には旧事業会社3社を吸収合併し、完全統合しました。

汎用油や独自技術を活かした長持ち油の発売など、各社の強みを活かした製品開発力や販売力を強化していきました。



2004～



目指すべき未来「Joy for Life® —食で未来によるこびを®—」の実現へ

変容する事業環境を念頭に、当社が2030年度に目指す姿を描く中で、2021年度に企業理念体系を刷新し、コミュニケーションブランド「JOYL」(ジェイオイル)を導入しました。

環境配慮型製品をはじめとして「おいしさ×健康×低負荷」を具現化することで、「食べる」よろこびと「つくる」よろこびを社会に提供し、社会課題の解決を通じて人々の暮らしに貢献してまいります。



2021～



「おいしさ」を原動力に **199年**